

深・魅力通信

「ピンチはチャンス」～iPad (ロイノート) を使った学習改革～

袋井中学校では、中国の蘇州日本人学校で実践されていた辻村先生を講師に、iPad(ロイノート)活用研修会を行いました。辻村先生は、「生徒が意欲的に学習するようになった」「低位の子が、とても成長して卒業時にはプレゼンができるまでになった」「**小学校で使い始めると、中学校でどんどん力が付いていく**」などの実際に体感した効果をお話してくれました。

iPad(ロイノート)は、「ワークシートの配布・添削・回収」「レポートづくり」「合成動画によるプレゼン」「ロイノート活用による考える授業」をはじめとして、「めあての把握・思考・活動・発表・共有・まとめ」と、様々な場面で活用できます。



田村先生からは、「iPad を活用する上での課題や問題点は何ですか?」という質問が出されました。「1人に1台持ち動画を送受信できる通信環境の整備と、iPad を使う際のルール作りや生徒指導面での配慮」が課題になるそうです。

学習も学び方も幼小中につながることで、児童生徒に確かな力を付けられると思います。